

「初タイトル」を目標に、森下仁之新監督を迎えて4年目となるJ1を戦ったサガン鳥栖。結果は第2ステージ終盤、降格圏への危険水域に入りそうな危ない場面はあったものの、なんとか持ち前の守備力を立て直し年間11位で2015年シーズンを終えた。主力が故障する中、守備に攻撃に八面六臂の活躍を見せた谷口博之選手のインタビューと、今シーズンの総まとめをおくる。



特集

2015年 J1リーグ戦 回顧



怪 我人が続出した今シーズンのサガンを攻守に支えたのが谷口博之選手。ある時はDFとして強力なJ1FW陣の攻撃を跳ね返し、ある時は最前線で体を張り攻撃陣を引っ張る。さらには中盤で相手の攻撃の芽を摘み、波乱を起こさせることなく試合を終わらせる。どこのポジションでも、どの時間帯でも、しっかり存在感を示しJ1残留に大きく貢献した谷口選手に今シーズンを振り返ってもらった。

シンプルなプレー心がけ

MF29 谷口博之選手
TANIGUCHI HIROYUKI

TANIGUCHI HIROYUKI

まずは2015年シーズンを振り返って感想を。
苦しいシーズンでした。ファン、サポーターの皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。特にホームで全然勝てなかったことが悔しいです。
— その中でも、J1リーグ戦全34試合中33試合に出場。出場時間も昨シーズンの約45倍に伸びるなど、チームを支えた。
個人としては、ここ2、3年あまり試合に出れてなかったので、森下監督に信頼してもらい、こうやって長い時間、試合に出れたことに本当に感謝しています。

FWとの駆け引き楽しい

— 試合ごとに、あるいは試合の中でも、攻守いろんなポジションを務めた。その難しさは。

PROFILE
たにぐち・ひろゆき
出身地 / 神奈川県
生年月日 / 1985年6月27日
身長 / 182cm 体重 / 73kg



難しさは多くはないですが、普段から試合中はシンプルに考えています。自分上手いプレーヤーではないので、FWで出たら点を取ることだけ。DFならまずは絶対失点しないこと。あまり細かいパスとか繋がらないで、クリアするところは蹴り出して、と考えています。プレーエリアによっては、やっていいプレー、

やっちゃいけないプレーがあります。FWの選手がDFに下がったら、ちょっと危ないプレーをするケースもあるんですが、自分はちゃんとDFらしいプレーを心がけています。
— 明確に相手に勝つ、ということを意識しているように感じる。
それが自分の特徴というか、この試合に勝つということだけを考えてやっています。マッチアップする選手が具体的に決まっている方がやりやすいですね。
今シーズン、対戦して大変だった相手は？
J1の選手はみんな大変ですよ！FWの選手は何かしら飛び抜けた武器を持っています。ポストプレーが上手だったり、メチャクチャ足が速かったり。大久保嘉人さんみたいに全部持っている選手もいます。神戸のレアンドロ選手とか。名古屋と対戦した時には、岡莉王さんが前にいて川又堅基選手と組んだり、降格した清水も、チョン・テセさんとウタカ選手の2トップは相当強烈でした。そういうスパーな選手たちをいかに止めるか。完璧に封じることができないので、得意なプレーをさせない、ということを考えてやっています。スピードの速い選手なら、まず裏に抜けないこと。それを出させると、勢いに乗ってしまうので、試合中、すごく気をつけています。大変でしたが、強烈なFW陣との駆け引きは本当に楽しかったです。まだまだもっとできると思っています。



実はCBの経験少ない

——センターバックとして、これだけ出場するのは、あまりないのでは。公式戦でセンターバックとして出場した経験はほとんどありません。このポジションを信頼して与えてくれた監督とチームに本当に感謝しています。3バック

クでも4バックでも、だいたい菊地選手と組ませてもらったんですが、役割分担がはっきりしていたので、非常にやりやすかったです。自分が競り合って、こぼれ球はスピードと判断力のある菊地選手がケアをするとか、ビルドアップの時も菊地選手が持ち出して、しっかりと運ぶとか。自分が試合に出て、なんとか形になっ

ていたのは、DFラインの仲間のサポートのおかげです。

——今シーズンは当初4バックだったが、3バックになったり、また試合中にもシステム変更が多かった。それを支えたのは谷口選手のポリバレント(複数のポジションをこなす)能力が大きかったと思う。



——自分の良いところは、どこのポジションでも「やらされてる」という感覚が全くないこと。試合に出れない時期もありましたし、こうやってピッチに立ってサッカーやっていると充実感があります。どこはできないとか、そういうのは監督に使ってもらっている以上言えません。

——どこのポジションをやっているにも、相手の心理が分かるといのが自分の強みです。センターバックがこうやって持つ時は、こう動かれたら嫌だったな、とか。そういうことをよくイメージしています。どこのポジションでもいろいろな課題があると思っています。DFだったらビルドアップのボールをもう少し改善したいです。受ける側に回ることがあるので、自分が一番、その重要性を分かっていると思います。逆に前のポジションを務める時は、センターバックがボールを持ったら全部受けようと思っています。でも本職のMFが一番難しいですね。ずっとやっていますが、いろんなことがあるから。

——攻撃面ではリーグ戦4得点。特に残留を決めた松本戦での同点弾が印象に残る。後ろからのボールにヒールでボレー。ミラクルゴールだった。

——ここまで生き残ってこれたのは、ああいう訳分かんないシュートが入るといいうか、得点に絡めるという特徴を持っているからだと思います。大事な試合で、それを出せたというのは嬉しいですね。練習だったら、あんなところには足を出さないですよ。PKで先制された時はやばいと思いましたが、チーム全体の気持ち

——一つになって、あのゴールを生んだんだと思います。

——でもリーグ戦で4得点はまだまだ少ない。もっと取れると思うし、監督からも「点取っていいんだぞ」と言われています。

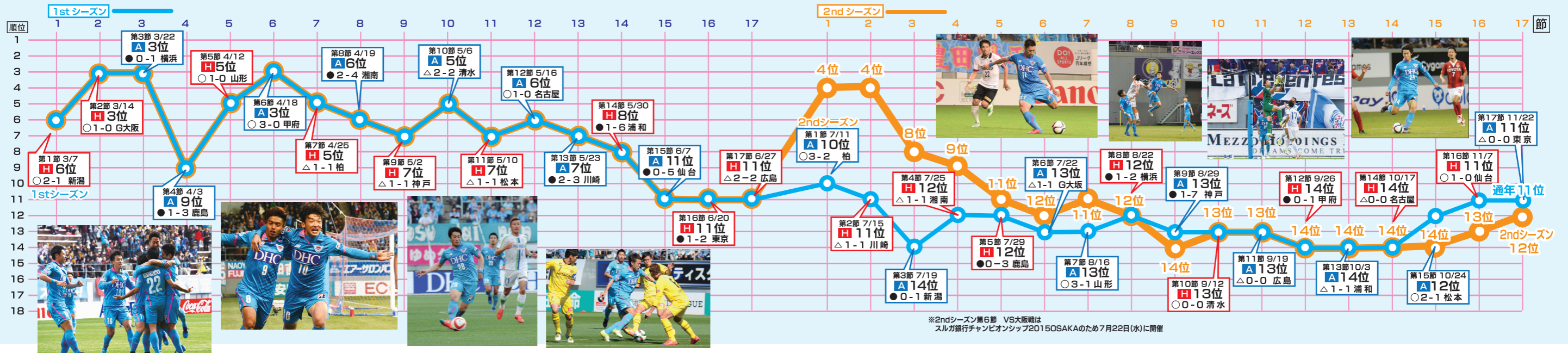
地元より居心地良い

——佐賀で暮らして2年になる。——すごく住みやすいですね。サガンの前に所属していたのは関東のチームだけだったので、正直、こちらに来るのは少し不安でした。今はもう自分の地元より居心地が良いくらいです。夏には、子どもを連れて川に遊びに行ったり、買い物にも便利だし、食事もおいしいですし。本当にいいところです。

——特にお気に入りの食事は？
——魚料理が大好きです。魚ばかり食べられています。関東だと結構高価な赤むつが、こっちだと手頃な値段で手に入りますね。よく行くお店は焼肉の大昌園さん!! 個室があって家族でゆっくり楽しんでいます。

——来シーズンへ向けて。
——まずは、まだ残っている天皇杯に全力を注ぎたいと思います。今シーズンいろんな経験をさせてもらった感謝の気持ちを天皇杯で示したいです。今季をしっかりした結果を残して終わりたいと思います。

——佐賀のみなさんにメッセージを。
——今シーズンはホームで不甲斐ない成績だったんですけど、来シーズンこそ、必ずベアスタで勝って、みなさんが気持ち良く、次の週からの仕事や学校に行ってもらえるように頑張ります。ぜひベアスタに応援に来てください!!



※2ndシーズン第6節 VS大阪戦はスルガ銀行チャンピオンシップ2015OSAKAのため7月22日(水)に開催

1を奪ったように見える。ホームの引き分けで稼いだ勝ち点は8。今季の総勝ち点から、これを引くと勝ち点32になり、降格圏外ギリギリの15位となってしまふ。確かにホームでの勝利は少なかったが、選手の最後まで諦めない姿勢があれば降格が現実となってしまう可能性も高い。

今シーズン振り返って目につくのが、大量失点試合の多さと、ホームで勝てなかったこと。第1ステージ第14節のアウェイ浦和戦は前半31分、水沼宏太選手のゴールで先制したものの、後半だけで6失点。続くアウェイ仙台戦も後半だけで5失点。第2ステージ第9節のアウェイ神戸戦も先制したものの前半に逆転を許し、後半5点を奪われ計7失点の大敗となった。3試合とも後半に大崩れしてしまった印象だ。ただ神戸戦の7失点大敗の後には、谷口博之、菊地直哉選手を中心に3バックを採用。残り8試合は1失点以上を許さないなど守備が安定。2勝4分1敗と粘り強く勝ち点を拾った。

藤田選手が日本代表に
エース豊田選手は第2ステージ第2節まではフル出場したが、その後は右脚に違和感を訴え、出場時間を減らしたものの得点ランク4位の16ゴールを記録。三浦知良選手以来となる4年連続15得点以上という偉業を達成した。主力が不在の中、奮起したのがMF水沼宏太選手。藤田直之選手が負傷欠場すると、キャプテンマークを巻き躍動。リーグ戦では自己最多の7得点。天皇杯準々決勝では2得点を奪うなど活躍した。チーム事情でいんなポジションを任されたが、どこにも存在感を發揮した。また谷口博之選手のユーティリティな能力が攻守両面でサガンを支える姿も記憶に残る。また藤田選手が日本代表に初選出。東アジアカップの韓国戦に出場し、チームメイトのキム・ミナ選手と対戦した。またGK林彰洋選手はワールドカップ・アジア2次予選メン

わかる。
ホームで勝てない
今シーズンを振り返って目につくのが、大量失点試合の多さと、ホームで勝てなかったこと。第1ステージ第14節のアウェイ浦和戦は前半31分、水沼宏太選手のゴールで先制したものの、後半だけで6失点。続くアウェイ仙台戦も後半だけで5失点。第2ステージ第9節のアウェイ神戸戦も先制したものの前半に逆転を許し、後半5点を奪われ計7失点の大敗となった。3試合とも後半に大崩れしてしまった印象だ。ただ神戸戦の7失点大敗の後には、谷口博之、菊地直哉選手を中心に3バックを採用。残り8試合は1失点以上を許さないなど守備が安定。2勝4分1敗と粘り強く勝ち点を拾った。

2015年J1リーグ戦回顧
1を奪ったように見える。ホームの引き分けで稼いだ勝ち点は8。今季の総勝ち点から、これを引くと勝ち点32になり、降格圏外ギリギリの15位となってしまふ。確かにホームでの勝利は少なかったが、選手の最後まで諦めない姿勢があれば降格が現実となってしまう可能性も高い。

初出場で初ゴール
昨季、左サイドバックとして活躍した安田理大選手の穴を埋めてあまりある活躍を見せたのが吉田豊選手。粘り強い守備と前へ持ち込む推進力。衰えない活動量とゴール前に顔を出す気迫。リーグ戦では第2ステージ第13節アウェイ浦和戦での同点ゴールが印象深い。

新星・鎌田選手が活躍

1を奪ったように見える。ホームの引き分けで稼いだ勝ち点は8。今季の総勝ち点から、これを引くと勝ち点32になり、降格圏外ギリギリの15位となってしまふ。確かにホームでの勝利は少なかったが、選手の最後まで諦めない姿勢があれば降格が現実となってしまう可能性も高い。

初出場で初ゴール
昨季、左サイドバックとして活躍した安田理大選手の穴を埋めてあまりある活躍を見せたのが吉田豊選手。粘り強い守備と前へ持ち込む推進力。衰えない活動量とゴール前に顔を出す気迫。リーグ戦では第2ステージ第13節アウェイ浦和戦での同点ゴールが印象深い。

鉄・非鉄金属 高価買取

鉄買取価格	区分(円/kg)	メーカー規格サイズ	ギロチン材(▲1.0)
特A	13.7円	13.7円	12.7円
特級	13.2円	13.2円	12.2円
一級	12.7円	12.7円	11.7円
二級	11.0円	11.0円	11.0円

非鉄金属買取価格	区分(円/kg)	100kg以上	100kg未満
アルミホイール	140円	140円	140円
アルミサッシ(付物なし)	125円	115円	115円
アルミサッシ(付物あり)	115円	105円	105円
アルミ缶(缶)	100円	90円	90円
アルミ缶(缶)	80円	70円	70円
アルミホイール(1本)	1,000円	500円	500円

※家電リサイクル法対象商品はお取り扱えません。※少量持ち込みの場合は単価設定が異なります。

廃自動車 持込買取

廃タイヤの処分料金を引き上げました。

4,000cc以上	50,000円	1,500cc以上 2,000cc未満	30,000円
3,000cc以上 4,000cc未満	45,000円	1,000cc以上 1,500cc未満	20,000円
2,000cc以上 3,000cc未満	40,000円	軽660cc	14,000円

※表示価格は欠品、ゴミなしリサイクル券付きのお持ち込み金額。(引取りも致しますが、価格設定が別になっております。)
■市場価格の変動に伴い、予告なく終了する場合があります。
(平成27年12月15日現在)※市場の変動などにより、価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

廃タイヤ 処分します

処分料 普通車・軽自動車

100円

重量処分料(税別)

12円(kg)

※受入できるのは乗用車・軽トラックのタイヤのみです。

アルミホイール付タイヤ(1本) 買い取り

1,000円500円

15インチ以上 15インチ未満

地球にやさしい環境をめざして

地球資源の有効活用にご貢献

江口金属株式会社

EGUCHI ISO-14001 審査登録

営業品目 製鋼原料・非鉄金属、自動車解体・中古部品販売、建造物解体
アルミ合金、産業廃棄物収集運搬処理業、再生資源リサイクル業全般

本 社 / 〒849-1103 佐賀県杵島郡白石町大字築切4023-5
TEL (0952) 84-5587 FAX (0952) 84-6194

広川工場(福岡) / 〒834-0115 福岡県八女郡広川町大字新代1332-73
武雄工場(福岡) / 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎1341-1
鳥栖工場 / 〒849-0101 三養基郡みやき町原古賀5207

